



次世代型浮体式海洋ガス生産施設の提案

- 愛知県渥美半島沖における複合型研究開発施設の設計 -

日本の周辺海域に広く分布するとされるメタンハイドレート。

本計画では、そのメタンハイドレートを海上で生産する「浮体式海洋ガス生産施設」を提案する。生産した資源は陸上へと供給すると共に、施設内で発電を行うことで、海上での長期的な活動に対応させる。

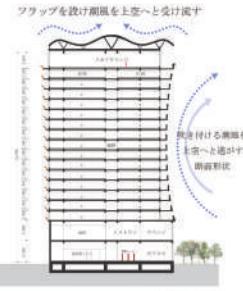
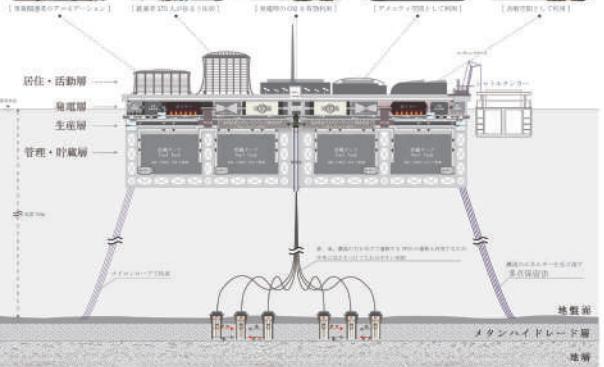
また、施設内での余剰電力は、他の浮体式構造物と海上で連携して電力供給を行うことや、二次エネルギー媒体に変換して消費地へ輸送するなどの複合利用化計画を行う。

- 海上の生活を可能にする基盤整備計画 -
[Infrastructure development plan enabling living at sea]

高度経済成長期以降に提唱された海上都市をモデルにインフラ整備を行う



施設構成



住居棟

会住戸数300戸を計算

窓面積1,000m²

生産部門従業員数154人

研究部門従業員数15人

その他部門従業員数1人

【就業者の増加に対応】

日間換気回数1.2回

住居棟は、生産部門従業員数176人、発電部門従業員数41人、その他各部門従業員数50人の計270人の就業者が住まうものとして計画をはかる。



食料生産棟

生産面積

耕地面積

果樹面積

野菜面積

花壇面積

草花面積

灌木面積

樹木面積

草花面積

灌木面積

